

生技DX・工場DX・サービスDXの先駆的な取り組みを聴いて・触れて・交流できるイベント

製造業DX×3Dセミナー2024

日時

2024年9月27日(金)

● 展示：10:00～先行OPEN
● 講演：13:00～開始

会場

JPタワー ホール&カンファレンス
(東京都千代田区丸の内二丁目7番2号)

主催

ラティス・テクノロジー株式会社

参加費
無料

事例講演1

古野電気株式会社

サービス現場の希望の星 XVL導入！

古野電気は船舶に搭載されるレーダーやソナーを製造・販売するメーカーです。大型で複雑な機構部の詳細理解、正確な部品の手配、そして迅速な修理復旧は、現場サービス技術員に求められるスキルです。これらスキルをサポートするツールとして、XVLの3Dデータ及びアニメーションをサービス現場用に導入しました。本講演では、導入経緯、利用事例、将来展望など、『サービス現場の希望の星』をご紹介します。

事例講演2

株式会社ジャムコ

3Dデータの全社活用 ～XVLパイプライン構築に向けて

本講演では、航空機に搭載するGalley、Lavatory、Seatの3Dデータ活用の歴史と最新展開を説明し、2次元CADから3次元CADへの移行や製造・メンテナンスでの活用を紹介します。今回は、各部門で個別管理していたXVLモデルを設計データの承認プロセスと連動させ、一元管理する仕組みを構築しました。今後は、これらのXVLモデルを製造外注先や最終組み立て工程、アフターサービス領域での活用を視野に入れた取り組みを紹介します。

事例講演3

日立建機株式会社

サービス部品検索のイノベーション ～3Dパーツカタログ：直感操作で部品検索効率・精度向上～

従来の日立建機のパーツカタログは、2Dイラストで部品を表現していたため、「部品を取り付ける場所が分かりにくい」「膨大な部品数の中から特定部品を検索するのに時間がかかる」といった課題がありました。今回、サービス部品検索の効率化・精度向上を目的に、「XVL Web3D Manager」を活用した3Dパーツカタログを構築しました。本取り組みについて、開発時のポイントや実際の3Dパーツカタログのデモも交えながらご紹介いたします。

Web

<https://www.lattice.co.jp/events/2024/0927-dxseminar2024>

